

やすらぎ通信

第 44 号（平成 26 年 7 月 1 日） 発行：大阪府立急性期・総合医療センター

文月(ふみづき)

海

作詞・作曲 不詳

松原遠く消ゆるところ
白帆(しらほ)の影は浮かぶ
干網(ほしあみ)浜に高くして
かもめは低く波に飛ぶ
見よ昼の海
見よ昼の海

島山闇に著(しる)きあたり
漁火(いさりび)光り淡し
寄る波岸に緩くして
浦風軽(かろ)く沙(いさご)吹く
見よ夜の海
見よ夜の海



喫茶室

7月に入り暑さ厳しい本格的な夏がやってきました。この頃は暑さに加え中旬くらいまで梅雨が居座り湿度も高く不快な気候が続くため、さらに暑くなるにしても青空に白い雲が浮かぶ盛夏の頃の方が待ち遠しくさえ思えます。さてこのような時期の季節の区分として、節気では7日頃の「小暑」と23日頃の「大暑」があります。文字通り、「小暑」は暑さが厳しくなる頃で暑気に入り梅雨があけるあたりの頃を指し、「大暑」は暑さが極まる頃という意味を持ちます。もっとも大暑は1年中で一番暑い日と言われますが、実のところ気象学的には8月上旬が一年で一番暑い時期ということだそうです。昨年は、高知県の四万十市が8月に41℃を記録し日本最高気温を塗り替え話題になりました。体温よりも暑い状況というのはなかなか想像できませんが、住んでいる方々にとっては相当厳しい環境だったのではと思えます。もっともニュースではいっそなるなら日本一は歓迎との地元の方の話もありましたが…。ところで見方を変えて瞬間的な気温ではなく、ひと夏の真夏日（最高気温30度以上の日）の日数や最低気温の高い状況を見ると、意外というかやっぱりというか大阪や名古屋などの大都市のほうが最高気温で有名な四万十市や熊谷市、多治見市よりも暑いといえるそうです。大都市特有のヒートアイランド現象による影響でしょうが、じりじりとした暑さに連日攻められる方が辛さでは勝るような気がします。

この蒸し暑さとの闘いで私たちの体力や気力はどんどん消耗されていく感じがします。このような時に体力を回復させてくれる旬の食べ物としては、やはり一番に名が挙がるのは鰻でしょうか。よく土用の鰻と言われますが、土用というのはそもそも各季節にあり、立春・立夏・立秋・立冬の前の18日間を指します。このうち立秋の前の18日間の夏土用が有名で一般化しています。この土用の丑の日に鰻を食べれば夏バテしないと宣伝し定着させたのが江戸時代の平賀源内と言われていますが、その真偽は別として食欲が落ちるこの時期にたんぱく質と脂の量が多く、ビタミンAを豊富に含む栄養たっぷりの鰻を食べることは理にかなったことです。そして何より、あの香ばしい香りととろけるような柔らかい身、そしてその身から滴り落ちたたれがしみ込んだアツアツのご飯は栄養補給という理屈をうっちゃって、しばらく隠れていた食欲をぐいっと引きずり出してくれます。

ただ最近、鰻は稚魚の漁獲量が激減して50年前の百分の一しか獲れず、輸入ものと合わせても需要に対し不足が著しくなり、結果私たちの食卓から縁遠くなるほど値段が高くなってしまいました。日本ではすでに環境省がニホンウナギを絶滅危惧種に指定しており、このままならワシントン条約での国際取引の規制対象とされることも検討されています。卵から成魚そしてその卵という完全養殖がまだ完成していないため後世にもその資源を残す必要性はわかりますが、鰻は生活習慣とともに食べ続けられて来た大切な文化であり和食では欠かすことのできない食材でもあります。資源を

守りながらあの美味しい飴色の芸術品をいつまでも食べ続けることが出来ることを望みたいものです。今年の土用の丑は、7月29日です。皆さん、食欲は湧きましたか？

NEWS

【(新) ～地域の医療機関の皆様へ～小児医療センターからのお知らせ：小児救急受入れ拡大のご案内】

府立急性期・総合医療センター小児科をご支援いただき誠にありがとうございます。少し先送りになっていますが、府市共同住吉小児医療センターの開設に向けて、“地域の患者さんを1次から3次まで受け入れる小児医療センター”を目指していきたいと考えております。

休日・夜間病診連携カードを導入しました

これは患者さんがかかりつけの先生を受診され、“今は大丈夫だけれども夜間や休日に病気が悪化するかもしれない”とかかりつけの先生が判断されたときに、かかりつけの先生から患者さんに渡されるカードです。このカードには病名と簡単な病状が書かれており、これを持って当センター時間外救急を受診されると、紹介患者さんと同じように小児科当直医が診療いたします。ただ、夜間や休日は小児科医が1-2人で対応しますので、カードをお持ちでも病状によってはお待ちいただくことがございますが、ご了承ください。

2013年12月よりこのカードを導入し、毎月約20名の小児患者さんがこのカードを持参して当センター時間外救急を受診されています。少しでも地域の患者さんの安心が得られるように、かかりつけの先生と連携を取って診療にあたりたいと考えています。

| |
|--|
| 大阪府立急性期・総合医療センター 小児科 休日・夜間診療連携カード |
| 様 |
| 平成 年 月 日生 |
| 診断名： 病状・検査所見など： |
| <small>上記患者様は当院かかりつけの方です。 實際の病状や予備には、紹介患者様として対応下さるよう、お願いいたします。尚、その旨を病院にご連絡いただければ、診療に関する情報を相互に提供することについて、患者様から許可をいただいております。</small> |
| 有効期限 平成 年 月 日から5日間 |
| 登録医療機関名 |

小児重篤患者さん(小児内科疾患の3次救急)の受け入れを拡大しました

これまでも外傷や心肺停止の重篤な小児患者さんを当救命センターが受け入れてきました。

2014年5月より、小児救命救急で修練した小児科医を迎え、小児内科疾患の重篤患者さん、例えば 血漿交換や持続的血液透析が必要な患者さん、低体温療法を必要とする脳炎・脳症の患者さんなどにも受け入れを拡大し、当救命センターで小児科医と救急診療科医師とで集中治療を行います。

たとえ地域の小児患者さんが重篤な疾患にかかっても、自宅から近いところで十分な医療が受けられるように、当センターで小児重篤患者さんの受け入れ拡大をしていきます。

小児救急科部長 高野智子

【～地域の医療機関の皆様へ～ 神経内科からの一言二言】

神経内科からのお礼

昭和 62 年 9 月、当院の近代化の施策の一つとして神経内科が併設され四半世紀が経ちました。皆様方のご支援により府域を代表する神経内科に発展して来ました。心より御礼申し上げます。昨年度、皆様方からご紹介いただきました、いわゆる紹介率は 98.4%と高率でした。入院症例も 920 名を超え、脳梗塞と神経難病が中心ですが、大部分が皆様方からの御紹介でした。逆紹介率ですが昨年度は 96%と若干低値でしたが、24 年度は 100%を超え、地域連携は良好な関係を維持していると思っています。皆様方の信頼を損ねないよう努力しますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

平成 27 年 1 月に難病法制定か

平成 27 年 1 月に、難病法が制定され、4 月ごろから実際に運用されると言われています。現在当センターは府域唯一の難病の拠点病院として責務を果たしています。神経内科はその中心的役割を果たしておりますが、おそらく難病法制定後も同様の役割を担うことが予想されます。神経難病を地域の先生と連携して支援する事業の継続を今後もよろしくお願い申し上げます。

脳梗塞の rt-PA（血栓溶解療法）の使用可能時間が発症 3 時間以内から 4.5 時間以内に変わって、なにか変化があったでしょうか？

平成 24 年 9 月から発症 4.5 時間以内が使用可能と延長されました。合併症や効果は 3 時間以内使用可能時と変化はないとの報告が大部分で、今後もさらに使用可能時間の延長が検討されるでしょう。問題は、全国的にも、当科においても同様ですが、rt-PA 例の増加が思ったほど伸びないということです。平成 25 年度の脳卒中センター入院患者 431 名中救急隊からのホットライン経由は 50%の 216 名でした。100%ホットライン経由が理想と考えられ、患者さん自身への教育、すなわち「脳梗塞は急性疾患であり、おかしいと感じたらすぐ 119 番で救急車を呼ぶ」というパブリックキャンペーンが重要と思います。一次予防、二次予防目的で貴院通院中の患者さんへの教育もよろしくお願い申し上げます。

神経内科主任部長 狭間敬憲

【～地域の医療機関の皆様へ～ 消化器外科のめざすがん医療】

初診時から始まる低合併症・低侵襲を目指したがん医療

初診時から栄養状態評価・体組成測定（骨格筋量など）・身体機能評価（握力、歩行速度など）を行い、がん患者さんの数十%に見られる 2 次的サルコペニアの拾い上げを行います。術前にはリハビリ部門による運動療法介入を行い、術後の合併症発生予防を図ります。手術は、食道がん・胃がん・大腸がん・肝臓がん・肺がんに対し病期に応じて、胸腔鏡や腹腔鏡を用いた開胸・開腹しない低侵襲鏡視下手術や機能温存

手術を積極的に導入しています。特に直腸がんでは da Vinci によるロボット手術を全国でもいち早く導入し既に 18 症例で安全に施行しさらに症例数を積み重ねています。

外科手術症例数は年々増加しており 2013 年度は 1156 例であり、その実績からがん診療連携拠点病院の役割を担っています。術直後には E-PASS による予測合併症発生率・死亡率を計算した上で厳重な術後管理を行います。退院後も積極的な栄養介入を継続し、骨格筋量および身体機能の維持に努め、合併症のない在宅生活復帰をシームレスに支援します。

総合医療センターの強みを生かしたがん医療

がんは高齢者の病気であり、来院時に脳血管・心臓・腎臓の障害や糖尿病などを合併した患者さんは少なくありません。他院では治療が難しいとされたがん患者さんに対しても、各科の高度専門家集団との円滑な連携で「地域の最後の砦」としての自覚の元に「決して逃げないがん医療」を担って行きます。

最新のがん医療を日本全体へ情報発信

進行がんに対しては抗がん剤、放射線、手術を組み合わせた集学的治療を積極的に行い治癒率の向上を目指します。抗がん剤治療の新規開発においては、多施設共同臨床試験への参加・登録数は全国でも有数であり、最新の知見に基づいた治療、全国でも限られた数十の施設でしか受けられない新規薬剤を使った治療や Global 治験、厚生労働省の認可を受けた先進医療など、他の施設では得られない治療を提供出来ることは大きな特色です。

早期がんに対する地域連携パスをはじめ先生方と連携を密に取りながら、最新・最良の医療を提供することで先生方のお役に立てるよう精進して参ります。

尚一層のお引き立てを、大阪府立急性期・総合医療センター消化器外科に賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

消化器外科主任部長 藤谷和正

【～地域の医療機関の皆様へ～ 人工関節センターからのお知らせ】

2007 年に人工関節センターを開設して今年で 7 年目を迎えます。近年の人工関節の性能向上、技術向上には目覚ましいものがあります。摺動面の耐摩耗性向上、可動域の改善、手術ナビゲーションによる正確で再現性の高い手術などにより、除痛の最終手段として考えられていた人工股関節・膝関節手術は、快適な日常生活を送るためのより一般的な手術へと変わりつつあります。

ナビゲーション手術

当科では人工股関節手術においてナビゲーションを 2009 年 6 月から使用開始しております。その安全性と治療効果が認められ、2012 年 4 月から保険適応となりました。術前 CT データに基づいた 3 次元での正確な計画を、1 度 1mm 単位で手術に再現することが可能になっており、安心して長く使える人工股関節になります。

両側同日手術

従来は主に両側膝関節罹患で希望のある患者さんに限定して行っておりましたが、現在は、適応と判断した場合は股関節症例を含め、こちらからお勧めしています。股関節症例も貯血のみで安全に行えており、入院期間は片側手術症例と大差なく、総合的な機能回復時間の短縮・入院費用低減など患者さんのメリットが大きい方法です。

当センターでは、人工関節を一生安心して使って頂けるよう、手術後安定した状態になってからも年1回程度の定期検診を継続させて頂いており、異常が認められた場合に早期に対応できるようにしております。日常の診療はかかりつけ医の先生方をお願いしておりますので、御理解と御協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

人工関節センター関節外科部長 原口圭司

【医療情報コーナーをリニューアルしました】

当センターでは、従来から来院された患者さん等に病気に関する知識や連携する地域の医療機関の情報を提供する医療情報コーナーを本館1階の正面玄関入って左横とやすらぎセンター入口に分かれて設置しておりましたが、このたびさらなる情報提供の充実と利便性の向上を図るため、やすらぎセンター内に新たなスペースを確保し患者情報を集約しました。新コーナーでは書籍・パンフレット等の医療情報の提供に加え、大型ディスプレイによる電子掲示板を導入し見やすくタイムリーな当センターの情報を提供することも出来るようになりました。近くには椅子やテーブルも配置しておりますのでゆっくりと情報収集することも可能です。どうぞ皆様方の積極的な活用をお願い申し上げます。

【「医療相談」コールセンターのご利用を ー地域医療連携センターー】

患者さんやご家族などからの医療や病院利用に関するご相談を、専門の看護師が電話でご相談に応じさせていただく「医療相談」コールセンターを開設運用しております。是非お気軽にご利用ください。

電話番号は 06-6692-2800 (専用電話回線)

06-6692-2801 (専用電話回線)

相談日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

(年末年始、土・日・祝日除く)

相談対象 医療相談を希望されるご本人若しくはご家族等

相談員 看護師

【診察予約変更センター 9診療科において診察の予約日・時間の変更を電話で受け付けています！】

当センターでは、下記の9診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができ

るよう「診察予約変更センター」を設置しています。是非、積極的にご活用ください。
なお、このサービスは初診に関しては行っておりませんので、ご注意ください
ますようお願いいたします。

- (電話番号) 06-6692-1201 (代表)にダイヤルして
「予約変更センター」と言ってください。
- (受付時間) 午後3時～午後5時(平日のみ)
- (対象診療科) 呼吸器内科 消化器内科 糖尿病代謝内科
皮膚科 形成外科 腎臓・高血圧内科
神経内科 脳神経外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

【入院治療費や外来での検査費用の概算を予めお知らせするサービスをしています】

当センターにおきましては、入院患者さんへのサポートを総合的・集約的に行う入院センター（やすらぎセンター）におきまして、ご入院申し込み時に予め標準的な治療を行った場合の概算費用をお知らせするサービスを行っています。

また、CT、MRI、RI、エコー検査など検査費用の概算を医療・福祉相談コーナーなどでお知らせするサービスも行っていきます。

今月の催し

【第33回相愛大学連携コンサート 相愛サクソフォンアンサンブル

～みんなが知っているあの曲をサクソで聞いてみませんか～

- 日 時 7月1日(火) 午後2時～3時
場 所 本館3階 講堂
内 容 相愛大学 前田昌宏教授によるお話し
サクソフォン奏者14名による演奏
入場料 無料

【すこやかセミナー「地震災害をのりこえるために、いま必要な準備」】

- 日 時 7月10日(木) 午後2時～3時
場 所 本館3階 保健教室
講 師 山下直美、松浦暁子
参加費 無料

【相愛大学連携 第40回外来糖尿病教室

知って得する！ 糖尿病との付き合い方

日 時 7月16日(水) 午後2時～
場 所 本館1階 アトリウム
内 容 カーボカウントって何??～糖質制限食との違い～
(糖尿病代謝内科医師 藤田洋平)
未定(薬局 薬剤師)
外食のポイント(栄養管理室管理栄養士 笠井香織)
参加費 無料

【すこやかセミナー「肺がんのことを知ろう」】

日 時 7月25日(金) 午前11時～12時
場 所 本館3階 保健教室
講 師 呼吸器内科主任部長 上野清伸
参加費 無料



【第23回万代・夢寄席 納涼太神楽～この夏も魅せますイリュージョン!～】

日 時 7月25日(金) 午後2時～3時
場 所 本館3階 講堂
出演者 豊来家玉之助
参加費 無料

【第12回病院ギャラリー企画展 須田剋太「街道をゆく」挿絵原画展 — 竹内街道、河内みち、堺・紀州街道、奈良散歩 — 】

『街道をゆく』は、司馬遼太郎氏が、1971年から1996年まで、25年以上にわたって週刊朝日に連載し、単行本にもなっている歴史紀行文学です。国内はもちろん、中国やモンゴル、さらには遠く南蛮(スペイン、ポルトガル)やオランダ、アイルランドをはじめ世界各地の街道も訪ね、司馬氏の洞察力に富んだ味わい深い文章により、その国や地域の歴史と風土を描いています。須田剋太氏は連載開始から1990年までの約20年間、司馬氏に同行してスケッチを重ね、「街道をゆく」の挿絵を制作しました。

それらの作品は、挿絵として各地の雰囲気や情景を伝え読者を楽しませるだけでなく、独特の画風で色彩豊かに描かれ、絵画作品としても優れたものとなっています。[大阪府立江之子島文化芸術創造センターホームページ内の解説文より抜粋]

今回は須田剋太氏が描いた「街道をゆく」シリーズの中から『竹内街道』(6作品)、『河内みち』(10作品)、『堺・紀州街道』(4作品)、『奈良散歩』(10作品)を紹介させていただきます。

(本企画展は、大阪府江之子島文化芸術創造センターのご協力を得て実施します。)

開催期間 4月28日(月)～8月1日(金)まで
展示場所 本館2階 病院ギャラリー
展示作品 竹内街道他 30枚

【(予告) 第24回万代・夢寄席「三代目桂春団治一門会」】

日時 8月8日(金) 午後2時～3時
場所 本館3階 講堂
出演 桂 福車、桂 寅之輔
参加費 無料

【(予告) すこやかセミナー「過活動膀胱」】

日時 8月22日(金) 午前11時～12時
場所 本館3階 保健教室
講師 泌尿器科 副部長 高尾徹也
参加費 無料

【(予告) 第34回相愛大学連携コンサート「声楽」】

日時 8月28日(木) 午後2時～3時
場所 本館3階 講堂
出演 中井祥子、樋口友佳子
入場料 無料

**【(予告) 第13回病院ギャラリー企画展 須田剋太「街道をゆく」挿絵原画展
— 近江散歩 — 】**

開催期間 8月4日(月)～11月7日(金)まで
展示場所 本館2階 病院ギャラリー
展示作品 「街道をゆく」シリーズの中から『近江散歩』28枚

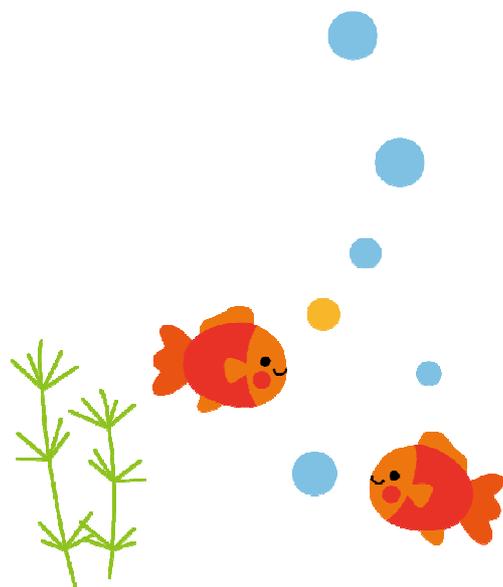
※ 2014年8月28日(木) 13時30分から作品説明会(約20分)を病院ギャラリーで開催いたしますのでご参加ください。

【(予告・募集) 作品展(コスモス会の開催と作品の募集について)】

今年も当センターとコスモス会の共催による作品展を10月27日から29日の間、本館3階講堂で開催する予定です。つきましては、出展作品を下記のとおり募集いたしますので、皆さん奮ってご応募ください。

応募資格 患者さんとその家族及び病院関係者

応募方法 出展ご希望の方は、当センター総務グループ(06-6692-1201 内線2313)へお問い合わせください。



応募作品例 絵画、写真、書道、手芸ほか
作品受付日 10月27日(月)午前9時～10時
作品返却日 10月29日(水)午後4時～5時

Topics



【管理栄養士のコーナー】 ~ちょっとおいしい話~

暑い季節を迎え、少々夏バテ気味!! あっさりした麺類が食べたいとおっしゃる方も多いのではないのでしょうか。

そこで、今回は夏野菜を使って、簡単に作れる『トマトとオクラの冷やしうどん』を紹介します。

| 《材料》 | (1人分) | (2人分) | 《材料》 | (2人分) |
|-------|------------|----------|------|--------|
| 冷凍うどん | 200 g | 400 g | だし汁 | 100 ml |
| トマト | 1/2 個 | 1 個 | みりん | 大さじ2 杯 |
| オクラ | 3 本 | 6 本 | しょうゆ | 大さじ2 杯 |
| 卵 | 1/2 個 25 g | 1 個 50 g | みそ | 小さじ2 杯 |
| サラダ油 | 小さじ1/2 杯 | 小さじ1 杯 | すりごま | 大さじ1 杯 |
| みょうが | 2 個 | 4 個 | | |
| 青じそ | 2 枚 | 4 枚 | | |

(1人前) エネルギー: 350kcal たんぱく質: 9.2g 脂質 8.2g 食塩相当量: 3.7g

- ① めんつゆを作る。鍋にだし汁とみりんを入れ、しょうゆを加えひと煮する。みそを溶き入れ、すりごまを加えて冷蔵庫で冷やしておく。
- ② トマトはヘタをとり、皮を湯むきし、1cm角に切る。オクラはヘタを切り、熱湯でさっとゆで、冷水にとって冷まし小口切りにする。
- ③ 卵はフライパンに薄く油をひき、薄焼きにし、錦糸に切る。
- ④ ①にトマトとオクラを加えて混ぜ、冷蔵庫で冷やしておく。
- ⑤ みょうがは小口切りにし、青じそは縦半分に切ってから細切りにする。
- ⑥ たっぷりの熱湯を沸かしてうどんを茹で、冷水にとってからザルに上げて水気をきる。
- ⑦ 器にうどんを盛り③をのせ、④のめんつゆをかけて、みょうがと青じそを添える。



オクラについて

胃腸の調子を整える役割があり、夏バテ防止にも効果的。

栄養管理室 管理栄養士 山根 泰子

今月のひまわりさん

各種窓口でセンターご利用のお手伝いをさせていただいている医事事務委託会社ソラストの窓口担当を紹介させていただくコーナーです。

【(新) 入院窓口 山本さんの巻】

私は入院窓口の担当者として、毎日患者様やそのご家族様に入院に関するご案内を行っています。当日予定の入院で来られた方、また外来診察が終わった後に入院申し込みをされる方の受付が大半です。特にご年配の方も多いため、できるだけ“分かり易く丁寧に説明する”ことを日頃から心がけています。私は少し早口なので、ゆっくり大きな声でお話しすることを努力しています。

待ち時間を短縮することも大切です。午前中は窓口がとても混雑するので、丁寧さを最優先すると待ち時間が長くなりご迷惑をおかけしてしまいます。必要な内容を省略することなく、自分の作業をできるだけスピーディーにし、また処理を後回しにするなどして、患者様が入院時間に間に合うようにしなければなりません。忙しいからこそ笑顔やアイコンタクトをプラスしたコミュニケーションをとることが必要だと感じています。

先日患者様から「毎日何十人も入院しているんでしょう。大変なお仕事ですね。」とねぎらいの言葉をかけていただきました。このお言葉を励みに、不安を持って入院される患者様に寄り添う気持ちを忘れないよう、これからもこの業務に努めていきたいと思っております。

その他のお知らせ

【「急性期・総合医療センターの最新治療がわかる本」が出版中です！】

府民の皆さま向けに、当センターで行われている最新治療をご紹介する書籍を出版しました。当センターの医師や看護師らが、分かりやすく、簡潔に、しかも必要な情報はきちんと把握できるように執筆しています。

この本は、いわゆる医学書や診療ガイドブックではなく、健康なときから病気にかかったときまで、府民がよりよい治療を選択する際に役立つ健康情報を掲載しています。病気を理解し、よりよい治療を選択する



ための案内書としてご利用いただければ幸いです。

価 格：1,998 円（消費税 8%込）

◇当センター内のローソンや近隣の一般書店等で販売します。

◇当センター内のローソンでは、下記の方を対象に割引販売を実施します。

- ・当センターの診察券をレジで提示いただいた方
- ・当センターで開催されるイベント参加者にお配りする書籍の案内リーフ（割引券付き）をレジで提示いただいた方

割引価格：1,700 円（消費税 8%込）

【医療費の支払いはキャッシュカードでできます！】

当センターの医療費自動精算機は、デビットカード対応となっておりますので、ほとんどの金融機関のキャッシュカードでお支払いができます。

これらの金融機関は J-Debit に加盟していますので、キャッシュカードに自動的にデビット機能が付与されているからです。（ただし、キャッシュカードでお支払いいただいた場合は即座に口座から引き落とされることとなるため、口座に引き落とし金額以上の残高が必要ですのでご注意ください。また、デビット機能が付与されていないカードもありますので、ご注意ください。）

このため、医療費の支払いのための現金を持たなくても、キャッシュカードさえあればお支払いが可能です。

また、引き落としの手数料は不要ですので大変便利です。是非ご利用ください。なお、合わせて一般のクレジットカードでのお支払いもできます。

【やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」は、メルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページの「メールマガジン申込み」からアドレスを登録していただきますようお願いいたします。なお、ホームページの検索は、「大阪府立急性期・総合医療センター」にて可能です。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」
「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。